



共に学び高め合うこと

来馬

令和6年11月22日発行



今月は、2つの講演会でのお話を紹介します。

校長 中島 英治

3日は、登別市立図書館で**猟師**のお話を聞きました。

NHKの番組のディレクターだった彼は、人間を含めた自然界のいのちの巡りを強く意識するようになり、自分で獲物を仕留めるため、数年前に北海道へ移住。狩猟免許を取得して鹿や熊を追い続けています。毎日の食事は、生物のいのちをいただいていること、自然の恵みに「いただきます」と感謝して食べましょう、とはよく聞きますが、狩猟体験を通して、人間より強く、優れたものがあるという現実を素直に認め、謙虚になり、分をわきまえることが大切であると、彼に教えてもらいました。

近年、全道・全国で鹿や熊の生息数が急増し、市街地での出没が問題視されています。先日は、「猟友会がヒグマの駆除要請拒否を検討」というニュースもありました。邪魔者扱いされている鹿や熊たちが「本当は君たち人間の方が邪魔なんですけど…」とささやいているかもしれません。



19日は、登別市民会館で**快眠生活アドバイザー**のお話を聞きました。

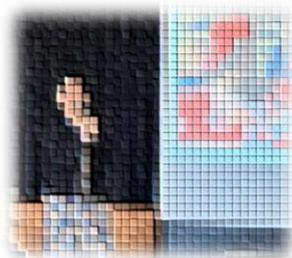
眠りが浅く、夜中に何度もトイレに起きてしまう私にとって、興味深い内容でした。睡眠時間は短すぎても長すぎてもダメ。中学生にちょうど良いのは8時間以上。脳の働きが良くなり、感情を安定させ、やる気と集中力が高まり、学力も向上するそうです。土日に睡眠時間を多くとるのは構いませんが、夜更かしをしないことなど、睡眠時間はもちろん、睡眠の質にこだわることが大切と教わりました。



布団に入る1時間以上前、しかもぬるめのお風呂に入ること、冷え性だからと言って靴下を履いて寝ないこと。熱いお風呂が大好きで、冬は靴下を履いて寝るという私の習慣は、睡眠の質を低下させることが分かりました。早速、試してみます。

講演や書籍から新しい知識を得たり、自分の知らない世界をのぞいたりすることは、普段の生活や人生そのものをより深いものにしてくれます。とくに読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにします(「子どもの読書活動の推進に関する法律」基本理念より)。本校に勤務する学校司書の加藤さんによると、昨年度(1年間)に西陵中の生徒が借りた本は937冊(月平均78冊)に対して、今年度(8ヶ月間)はなんと1155冊(月平均144冊)。大きく増加しています。いち早く新刊を取り入れ、中学生の興味関心にピッタリの本を用意してくれる司書がいる学校図書館があり、校長として嬉しい限りです。

11/5 1年 JICA 国際理解 出前講座を開催



アフリカ大陸南
東部に位置する
「マラウイ共和国」
(北はタンザニア、
東はモザンビーク、

西はザンビアと国境を接する国)に派遣された船田ふなだひかり様を講師に迎え、国際理解出前講座を開催しました。

北海道と九州をあわせた面積に相当する国と紹介があり、アフリカ大陸のどの位置かを地図上で確認することから講座が始まりました。現地での生活の様子や授業をする上でのユニークなエピソードの紹介もありました。例えば、「図形」の学習において、コンパスも定規もないような環境の中で、身近にある物を使用したり、自分の体を使い「角度」を学んだりする話に興味を示す生徒たちも多くいました。

講座全体を通して、「生きる幸せ」「国際協力のあり方」について、多種多様な文化や価値観を見つめなおす貴重な時間となりました。

11/11 新入生体験入学・保護者説明会

幌別西小学校の6年生が国語・理科・音楽の3つのグループに分かれ、30分間という短い時間で中学校の授業を体験しました。国語は朗読や漢字クイズ、理科は「混ぜるだけで起こる化学変化」、音楽は「動物の謝肉祭」の鑑賞に挑戦しました。

全校生徒、全教職員で、皆さんの入学を心待ちしています。

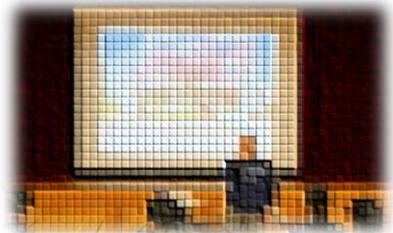
11/12 進路説明会を開催 3年生 生徒対象 / 保護者対象

午前(生徒対象)と午後(保護者対象)に分け、進路担当より、今年度の入試日程や手続きを中心に説明しました。

12/2(月)より4日間の三者懇談会を実施する前に、ぜひ知っておいてほしいこと

をお伝えする説明会となりました。今年度から道立高等学校等の入学者選抜において、出願手続きの一部電子化(ウェブ申請)が導入されます。受検者自らが申請後、印刷した入学願書を学校に提出することになりますので、ご協力をお願いします。

また、同期間は1,2年生も三者懇談会を開催します。お子さまの進路選択や学校生活で不明な点や心配等がありましたら、ご遠慮なく担任へご相談ください。



11/15 登別市 鬼っ子フォーラム みんなが通いたくなる学校づくり

今年で4回目となるフォーラムに本校生徒会副会長2名が参加し自校の取組を発表しました。

「鬼っ子宣言」一人ひとりの個性を大切に
し認め合う 互いを思いやり笑顔あふれる
学校をめざす が承認され、各学校では、この宣言をもとに、これから児童会・生徒会活動を行っていくことになりました。



国語

理科



音楽

